

## 受け継がれる看護実践力の探究と教育力のあくなき研鑽

尾岸 恵三子（日本赤十字秋田看護大学）

本学の教育理念は、「至誠と愛の精神に基づく医療を行う人材を育成する」である。本理念に基づく看護教育の改革に取り組みられたのは、榊原任先生、三神美和先生の招聘を受けて着任された湯楨ます先生、小林富美栄先生、藤枝知子先生、薄井坦子先生方である。改革は、1965年に看護部と看護学校が一体となって“患者に良い看護を”という目標を掲げ附属高等看護学校を開設したことに始まる。そして、その教育の基本には、小林富美栄先生の教育観と教育力に対する拘りがある。教育観は「教育は学生一人一人の個性を尊重する教師と、自ら学ぼうとする学生との真剣な相互作用の過程において創られるものである」と説かれ、教育力は、「教員の人間性、自身を磨きつづける力にある」と論された。そして、この考えに賛同した全ての教職員とともに目指した教育は、学問的レベルの知識を、できるだけ深く、広く看護の科学的な根拠を追及して、高い専門的知識を習得すること、カリキュラムに当てはめた教育でなく、教育らしい教育、看護が実践できる人を育てる、看護職としての人間づくりの実現へと取り組まれた。

本学の自由な発想、変革を懼れ（おそれ）ない気風は、教育の場・看護実践の場における「より良い看護」への取り組みへと発展し「我が国初めての教育病棟の設置」（1974年～1991年）と成る。すなわち、「臨床と教育の統合と協働の取り組み」である。教育病棟における看護教員の役割は、医療システム全体の中で、患者の立場に立った看護を実践する姿勢を「ロールモデル」として臨床の看護師に示すことであり、「看護とは何か」「全人的なケアとは」「看護職者を育てることとは」等、課題を明確にした意図的な取組を行うことである。その後は、教育病棟委員会から教育委員会へと、また「より良い看護」の探究者としてエキスパートナースの誕生に至る。


更に、吉岡守正先生の「看護学の学問体系を創りあげる必要がある。看護教育は、量の確保ではなく質を重視する看護学として独立した科学を思考・模索・考案すること」の英断により看護短期大学を東京女子医科大学看護学部へ改組転換を図った。


看護学部は、大学院看護学研究科博士（前期・後期）課程、大学院専門看護師教育課程、教育センター（手術看護分野、透析看護分野）、養護教諭一種免許課程等の設置に至る。

今、これらの多くの先人の思いを力に、臨床と教育の場が一体となり、看護実践力の探求と教育力のあくなき研鑽が進められ、「より良い看護」の本質追求に取り組まれている若き力に限りない声援を届けます。

# 受け継がれる看護実践力の探求 と教育力のあくなき研鑽


日本赤十字秋田看護大学  
尾岸 恵三子



 東京女子医科大学の建学の精神

## 理念

「至誠と愛の精神に基づく  
医療を行う人材を育成する」

 看護教育基盤の創造

### 教育基盤を築かれた先生方

湯楨ます先生  
小林富美栄先生  
藤枝知子先生  
薄井坦子先生

「看護とは」「看護教育とは」

### 小林富美栄先生の「看護教育観」

- ・教育観  
教育は学生一人ひとりの個性を尊重する教師と、自ら学ぼうとする学生との真剣な相互作用の過程において創られるものである
- ・教育力  
教員の人間性、自身を磨き続ける力にある

## 沿革 看護教育の歴史

**創立**

1900 附属産婆看護婦養成所（一九四七年廃止）

1944 東京女子厚生専門学校（一九五一年廃止）

1951 附属看護学院

1953 看護学院

1965 附属高等看護学校

1969 看護短期大学（二〇〇一年閉校）

1972 附属看護専門学校

1975 看護短期大学専攻科（二〇〇一年閉校）

1977 看護専門学校

1998 看護学部

養成教諭一種免許課程

認定看護師教育センター  
（手術看護分野・造形看護分野）

大学院看護学研究科修士（前期・後期）課程

専門看護師教育課程

大学院看護学研究科修士課程

看護学部

1900 1930 1944 1951 1953 1965 1969 1972 1975 1977 1995 1998 2002 2004 2007

## 東京女子医科大学の看護教育の発展

看護教育の創造

四年制大学志向

看護学の実践

臨床看護の質の向上

看護実践活動

看護研究活動

申請準備期

大学院看護学研究科  
修士課程 博士課程  
\*専門看護師教育課程  
看護学部看護学科  
(認定看護教育センター)

看護実践活動

看護研究活動

## 我が国初の試み「教育病棟」の設置

### ◆臨床と教育の統合と協働◆

#### 教員の役割

“専門職として患者の立場に立ちながら、  
ロールモデルを示すこと”

- ・看護とは
- ・全人的なケアとは
- ・看護職の育成とはetc.

リーダー教育・主任教育・教育委員会設置

臨床現場と教育の一本化により、病院全体の看護水準の向上



## 看護学教育への思い

- ・本学に看護学部をと考えているのは、看護学の学問体系を創りあげる必要があるからである
- ・量の確保ではなく質を重視した教育内容であることにしたい
- ・看護学として独立した科学を思考・模索していけるカリキュラムを考案したい

吉岡守正先生のお言葉より



学部学士課程と大学院博士（前期・後期）課程との関係図

